

黒潮町の良さを知って

私たち5・6年生は、「ふるさと科」(総合的な学習の時間)の時間に「黒潮町の良さを見つめ直そう」という学習をしています。そこで、8名の県外から移住してきた方から見た黒潮町の良いところについてインタビューをしました。

まず黒潮町の良いところを聞きました。すると、「人が温かい」「自然がきれい」「人とのふれ合いの場が多い」などの答えが聞きました。

私は、このインタビューを通して今まで当たり前だと思っていた豊かな自然や人の温かさ、ふれ合いは県外の人にとっては当たり前ではないことで、大切にしなければならぬということに気づかされました。良いところを大切にして今よりも地元の人にも県外から移住してきた人にも住みやすい環境を作り、もっとたくさんの方に黒潮町のことを好きになってほしいと思います。



(田ノ口小学校 5年 秋田 陽向)

がんばった誠心園まつり

11月3日に誠心園まつりに行きました。最初に、太刀おどりをおどりました。太刀おどりはたくさんの人に見られたから、少しきんちょうしたけど、一回もちがえずにおどれました。

その後、着がえてからお店を手伝いました。わたしは、詩春ちゃんと亮くんとたこやき屋のお手伝いをしました。わたしと詩春ちゃんは、利用者の人や地域の人に、何個いるかを聞いて、お金をもらって、ふくろに入れて渡しました。たこやきの所にはたくさんの人が並んでいました。一度に何人かの人が注文してきましたので、覚えるのが大変でした。

そして、昼ごはんを食べました。フリールンとカルピスを買いました。麦茶とたきこみご飯をもらったので、みんなで食べました。おいしかったです。誠心園まつりのお手伝いは大変だったけど、楽しかったです。



(南郷小学校 5年 溝渕 絢音)

京都大学矢守研究室を訪問して

京都大学の防災研究所の中では、地震のことに対して熱心に研究が進められていました。内容は難しくわかりにくかったけれど、地震のことについて詳しく調べ、それを防災に役立てたいと熱心に研究しているのだと感じました。

阿武山観測所に行った時に「温故知新」とあり、先生や研究者はまず地震の歴史を学び、それを未来に生かそうとしているのだな、と思いました。観測所では、地震についてボランティアの人たちが高度な内容をわかりやすく説明してくれました。特に、これまで知らなかった液状化についての実験が印象に残っています。

京都大学では、たくさんの方の外国人も勉強していて、みんなが英語で話しているのを見てあんな風になりたいと思います。今回学んだことを多くの人に伝えたいです。



(大方中学校 3年 山沖 大洋)